

# 第23回 文学館演習 —日本近代文学資料の探索と処理— 2019年度募集要項・スケジュール表

日時 2019年8月20日(火)～24日(土)の5日間 各日 午前10:00～午後5:15 (但し初日と最終日は変則的な時間割となります。)

※単位とする場合、1日4コマ(1コマ90分)計20コマ(30時間)・2単位。評価はレポート、実習などによります。

受講料 20,600円(当館維持会会員・友の会会員は18,500円)

定員 40名

申込方法 (1) 博物館実習としない方(先着順。2019年4月1日以降受付けます)

①郵便番号・住所・氏名・電話番号 ②職業(学生は大学または大学院名・学部・学科または専攻名・学年)を明記し ③受講料(現金書留または郵便小為替)を同封の上、下記係宛にお送りください。なお、日本近代文学等の単位とする方は、その単位名を明記してください。

(2) 博物館実習とする方

2019年3月末日までに(必着)往復ハガキに「博物館実習希望」の旨と上記①②を明記し、お申込みください。  
受入れの可否は4月1日以降お知らせいたします。申込み多数の場合は抽選とし、一大学(大学院含む)最大3名までとします。

これまで、学習院大学大学院、埼玉大学大学院、成城大学大学院、日本女子大学大学院、梅光学院大学大学院、福岡女子大学大学院、佛教大学大学院、武蔵大学大学院…等で単位認定を受けています

申込・問合せ 〒153-0041 目黒区駒場4-3-55 日本近代文学館「文学館演習」係 TEL. 03(3468)-4181

## 内容・講師

	1時限(10:00～11:30)	2時限(11:45～13:15)	3時限(14:00～15:30)	4時限(15:45～17:15)
20日(火)	<総論> (1)オリエンテーション ★10:00～10:50 (2)近代文学館とは ★11:00～11:50 坂上弘(館理事長)	<総論>★12:00～13:10 日本近代文学館の所蔵資料とその意義 中島国彦(早稲田大学名誉教授)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (1)自筆資料(書簡・ノート) 安藤宏(東京大学教授)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (2)図書 須田喜代次(大妻女子大学教授)
21日(水)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (3)雑誌 宗像和重(早稲田大学教授)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用①(実習) (事務局)	<資料の収集と活用> 図書・雑誌の利用②(実習) (事務局)	<文学の周辺(1)> 文学と戯曲(講義・演習) 石川巧(立教大学教授)
22日(木)	<資料の収集と活用> 資料を活用する研究法(講義・演習) (4)新聞 山田俊治(横浜市立大学名誉教授)	<資料の収集と活用> 肉筆資料の解読(実習) (事務局)	<文学をめぐる問題> 海外における日本文学の研究(講義・演習) 和田博文(東京女子大学教授)	<文学をめぐる問題> 文学と大衆(講義・演習) 宮内淳子(近代文学研究者)
23日(金)	<文学の周辺(1)> 出版メディアの戦略・検閲(講義・演習) 紅野謙介(日本大学教授)	<資料の収集と活用> 挿絵・写真資料の調査・保存(実習) (事務局)	<資料の保存・公開・展観> 資料の保存・修理(実習) (事務局)	<資料の保存・公開・展観> 資料の公開・展観(実習) (事務局)
24日(土)	<文学の周辺(2)> 文学と映画(講義・演習) 十重田裕一(早稲田大学教授)	<文学の周辺(2)>★11:40～13:10 文学と美術・音楽(講義・演習) 中島国彦(早稲田大学名誉教授)	<総括>★14:00～16:00 日本近代文学館に対する要望(質疑応答) 中島・池内講師、事務局	<総括>★16:10～17:10 反省会